

# 小学校・中学校 特別の教科 道徳

## 自分の思いを表すコンテンツを活用して

ツール・機能：Excel、PowerPoint  
分 類：思考活動

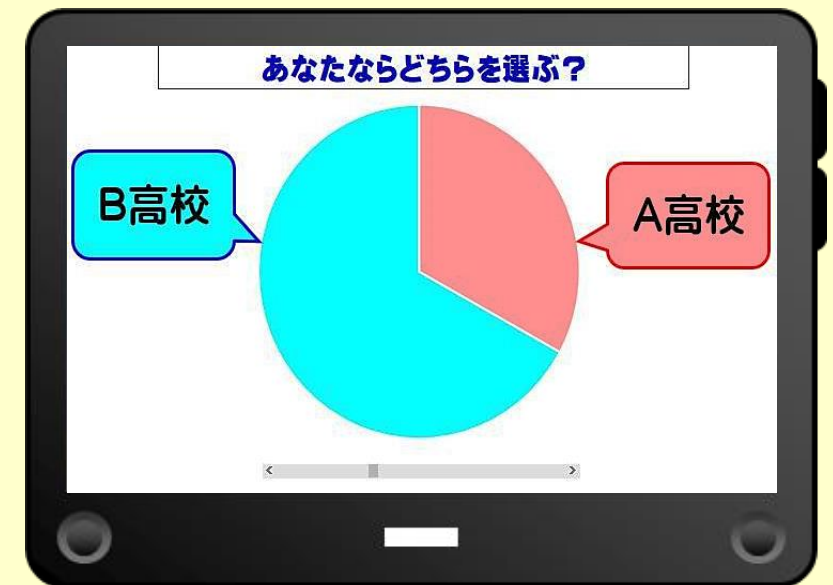
※e-net（熊本市地域教育情報ネットワーク）では、『心の数直線』として紹介されています。

<http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/>

(<http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/kyouzai/web/Heart-meter3/>)

※文部科学省HP内での活用事例では、『心情メーター』として紹介されています。

[https://www.mext.go.jp/content/20211104-mxt\\_kyoiku02-000015517\\_dotoku\\_tt.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20211104-mxt_kyoiku02-000015517_dotoku_tt.pdf)



# コンテンツ活用のねらい

- ◇ 児童生徒の思いや気持ちを可視化することができます。
- ◇ 児童生徒の思いや気持ちを、短時間で共有することができます。
- ◇ 多様な思いや考え方を知り、他者との対話活動の手立てにつなげることができます。
- ◇ 1時間の授業の中で変容した児童生徒の思いを記録することができます。

# ここがポイント！（こんな場面で活用できる）

## 【導入場面で】

- ・ 本時の道徳的価値について、児童生徒の実態を知る。  
（発問例：自分の夢や目標はありますか？）

## 【展開場面 1 で】

- ・ 主人公の心情を通して、道徳的価値について考える。  
（発問例：あなたならどちらを選びますか？）

## 【展開場面 2 で】

- ・ 展開場面 1 を基に、他者との対話活動を行う。
- ・ 対話活動を通して、道徳的価値について多面的・多角的に考える。
- ・ 自己の生き方について考える。

# ここがポイント！（中学校の学習を例に）

## 中学校 内容項目A-(3)向上心・個性の伸長


「ソフトボール部でバッテリーを組んでいた春香と裕子。毎日、全国大会出場を目指して練習に励んでいた。しかし、中学生最後の県大会では準決勝で負けてしまい全国大会出場の夢は消えてしまった。大会後、二人でA高校に進学して、もう一度全国制覇を目指そうと約束した。裕子は春香との約束を守るため、苦手な勉強を一生懸命頑張った。ところが、春香のもとに、全国大会優勝を何度も果たしているB高校からソフトボールの特待生として入学しないかという話が来た。全国制覇を夢見ていた春香にとっては、またとないチャンスだった。しかし、裕子との約束もある。春香は進学先を悩んでいた。そして、進路選択の時が来た。」

【当センター所員作成】

# ここがPOINT！：展開場面①での活用



\* 1人1台端末に、作成したコンテンツを表示し、児童生徒の思いを可視化することができます。

\*  の部分をドラッグすることで、どちらの気持ちが大きいかを視覚的に表すことができます。

1人1台端末の画面を電子黒板に表示し、対話活動につなげることができます



# ここがPOINT! : 展開場面②での活用

- ★クラスみんなが、どんな風に考えているのかを知ることができて嬉しかった。
- ★自分と異なる思いをしている人の考えを聞いて、自分の考えが広がった。
- ★なかなか考えがまとまらなかったけど、端末を通して対話をしたことで、たくさんヒントをもらい、考えをまとめることができた。

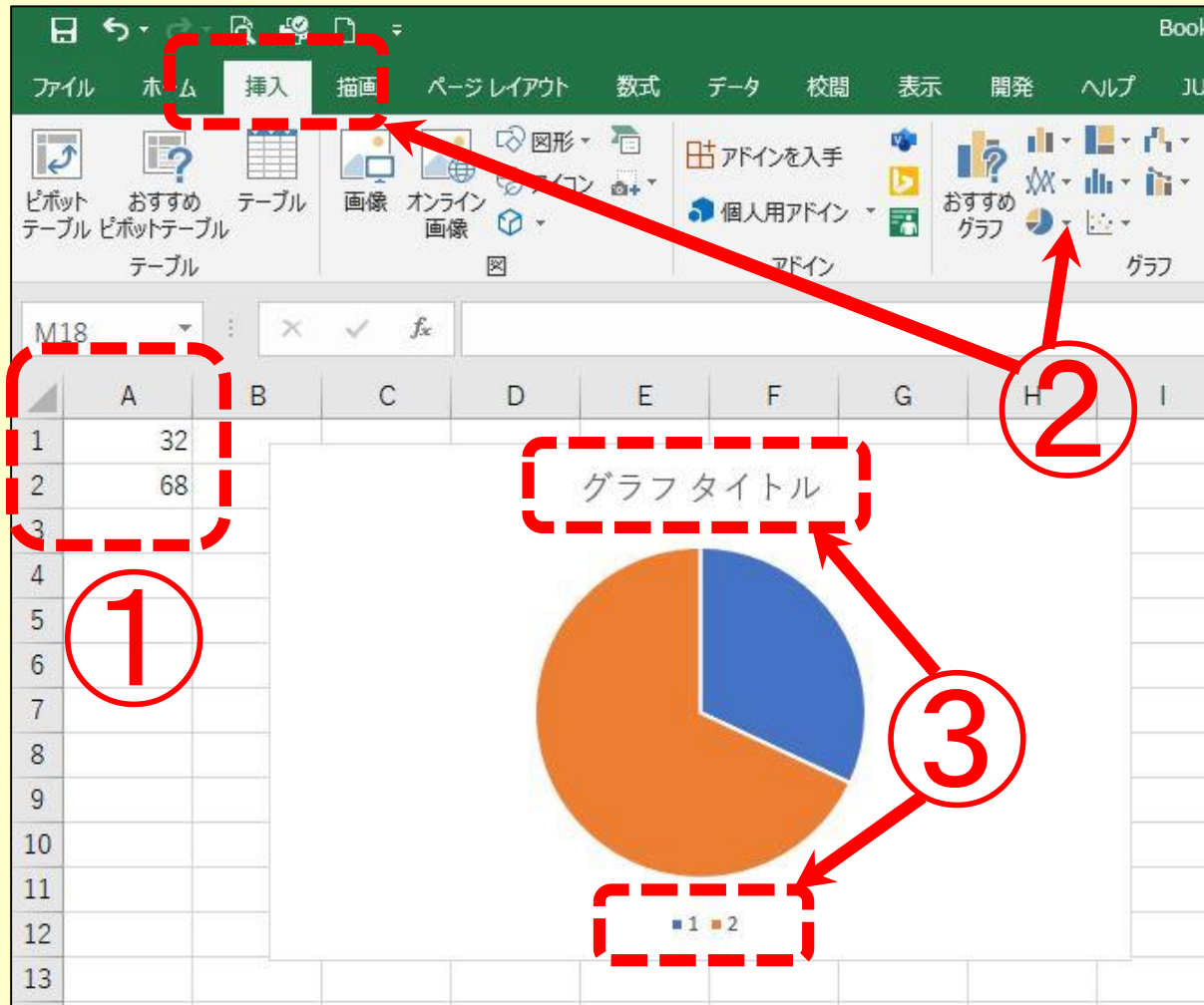


- ★自分と同じような思いをもった人と、端末を通して話すことで、自分の思いが更に深まった。
- ★自分と異なる思いの人や似てる思いの人を見つけやすく、対話がしやすかった。

自分の思いを表示した、  
1人1台端末を見せながら  
対話活動ができます

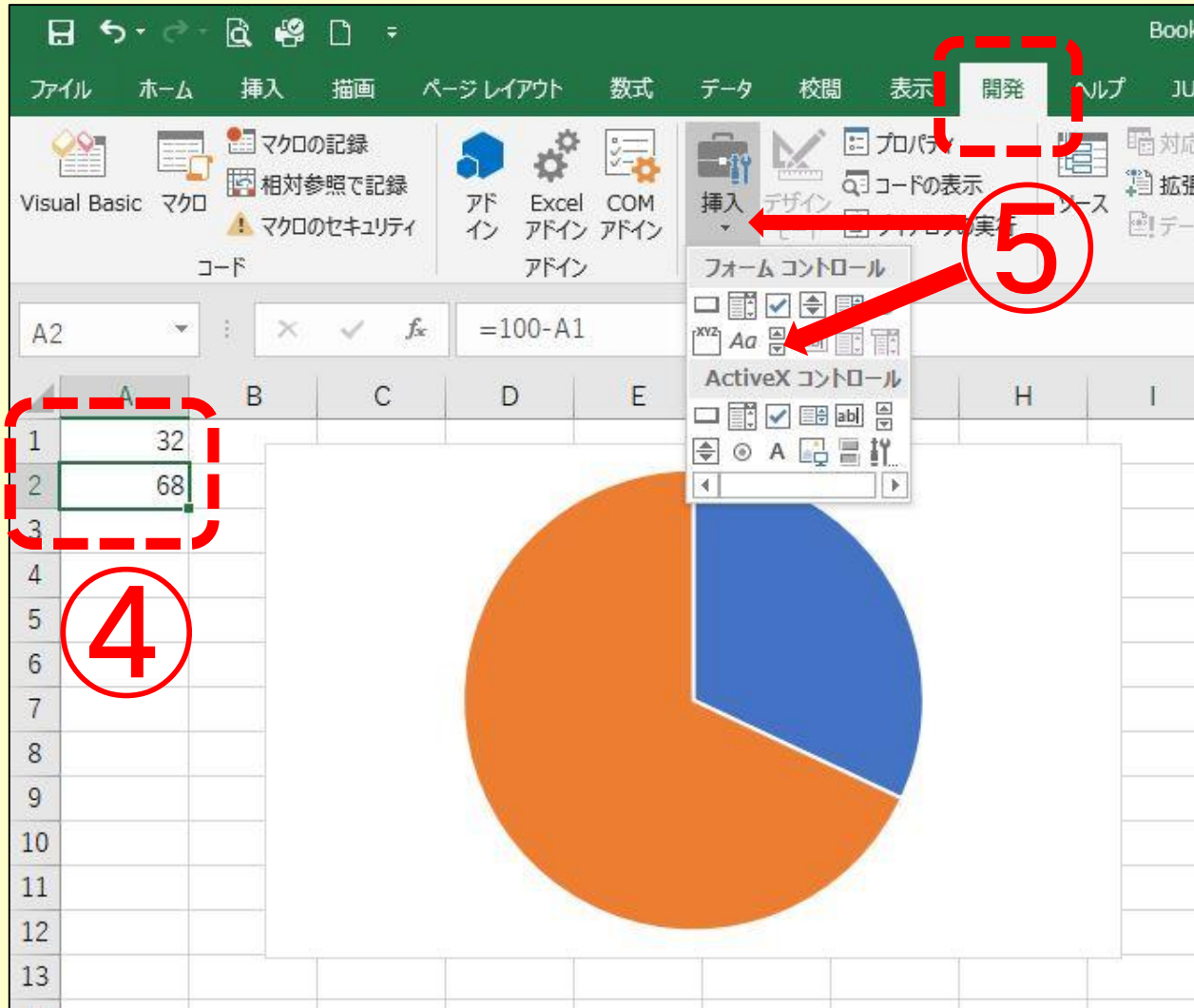


# 児童生徒が操作するコンテンツの作成方法 (Excelを使用)



- ① A1のセルに  $=100-A2$  と入力する。A2のセルに数字を入力する。  
(例は  $68$  と入力している)
- ② A1とA2のセルを選択し [挿入] のタブをクリックする。  
[円グラフマーク] の▼をクリックし、[2-D円] の円グラフを選択する。
- ③ 円グラフの挿入が完了する。  
「グラフタイトル」と「凡例 (□1 □2)」を削除する。

# 児童生徒が操作するコンテンツの作成方法 (Excelを使用)

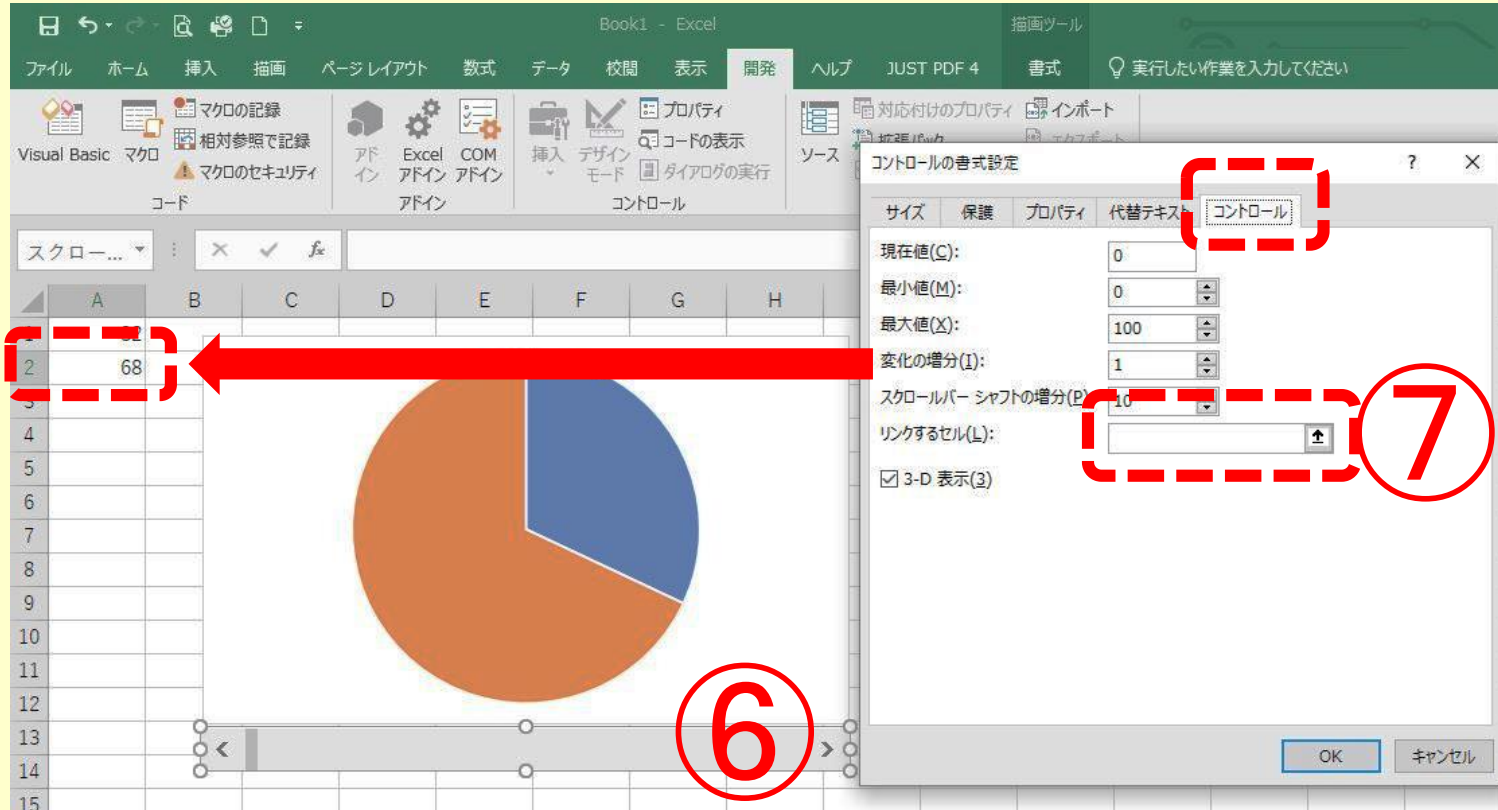


④ A2のセルを選択する。

⑤ [開発]のタブをクリックし、[挿入]をクリックする。  
[スクロールバー]を選択し、  
円グラフの下に表示する。



# 児童生徒が操作するコンテンツの作成方法 (Excelを使用)



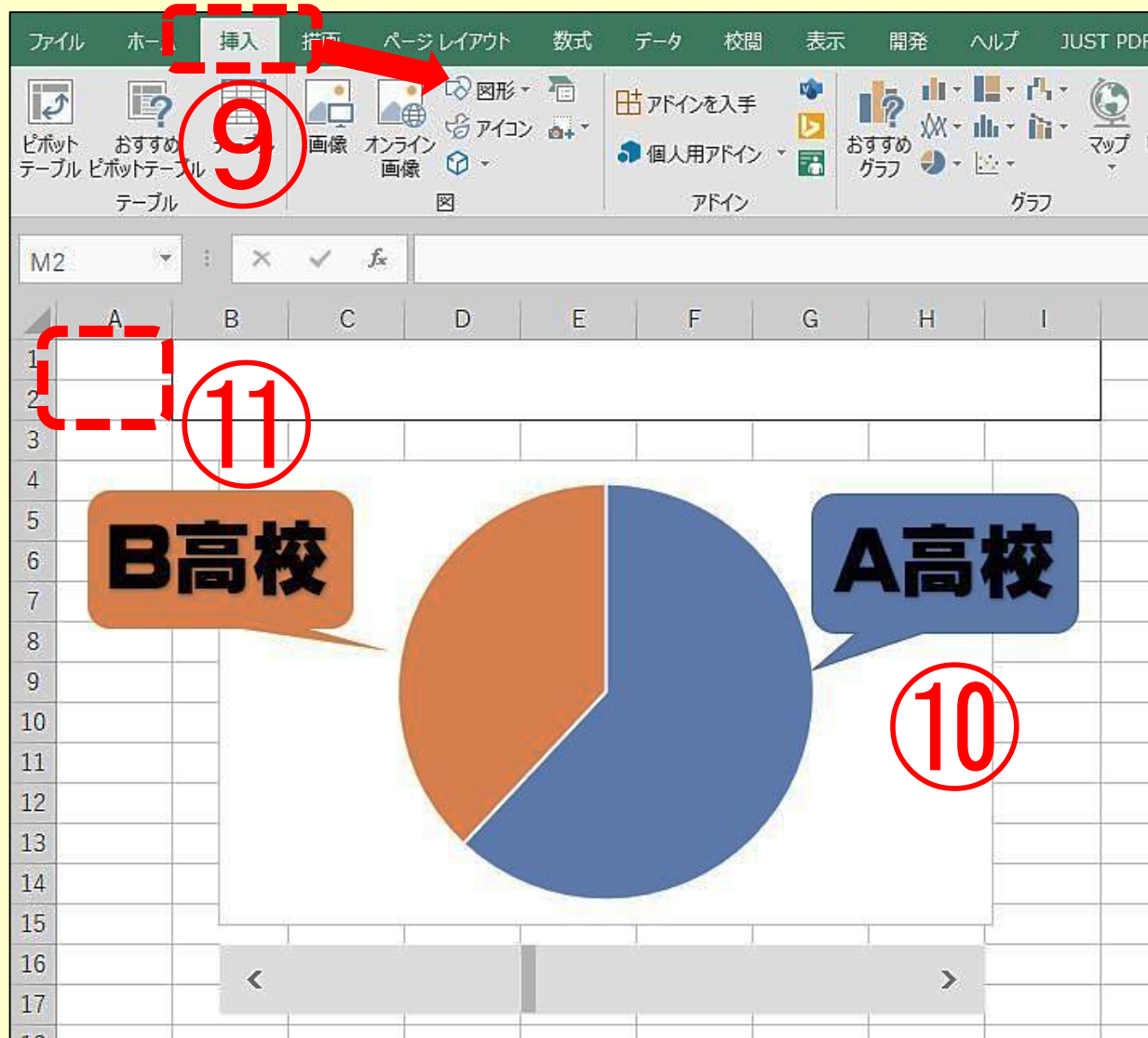
⑥ [スクロールバー]を選択して右クリックする。コントロールの書式設定を選択する。

⑦ 「リンクするセル」を選択し、合わせて、A2をクリックする。

⑧ OKをクリックする。

⑧

# 児童生徒が操作するコンテンツの作成方法 (Excelを使用)

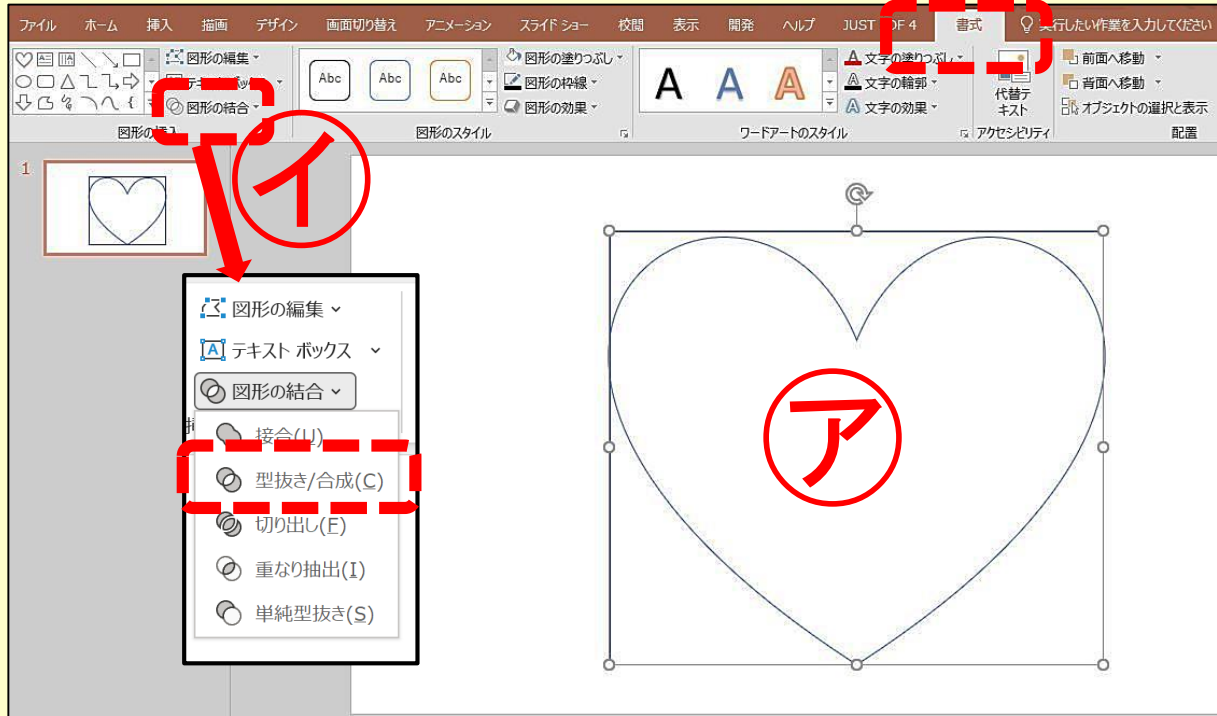


⑨ [挿入] のタブをクリックし、図形を表示する。図形をクリックし、吹き出しを選択して挿入する。

⑩ 吹き出しを使って、どちらの色が何を示すか表示する。

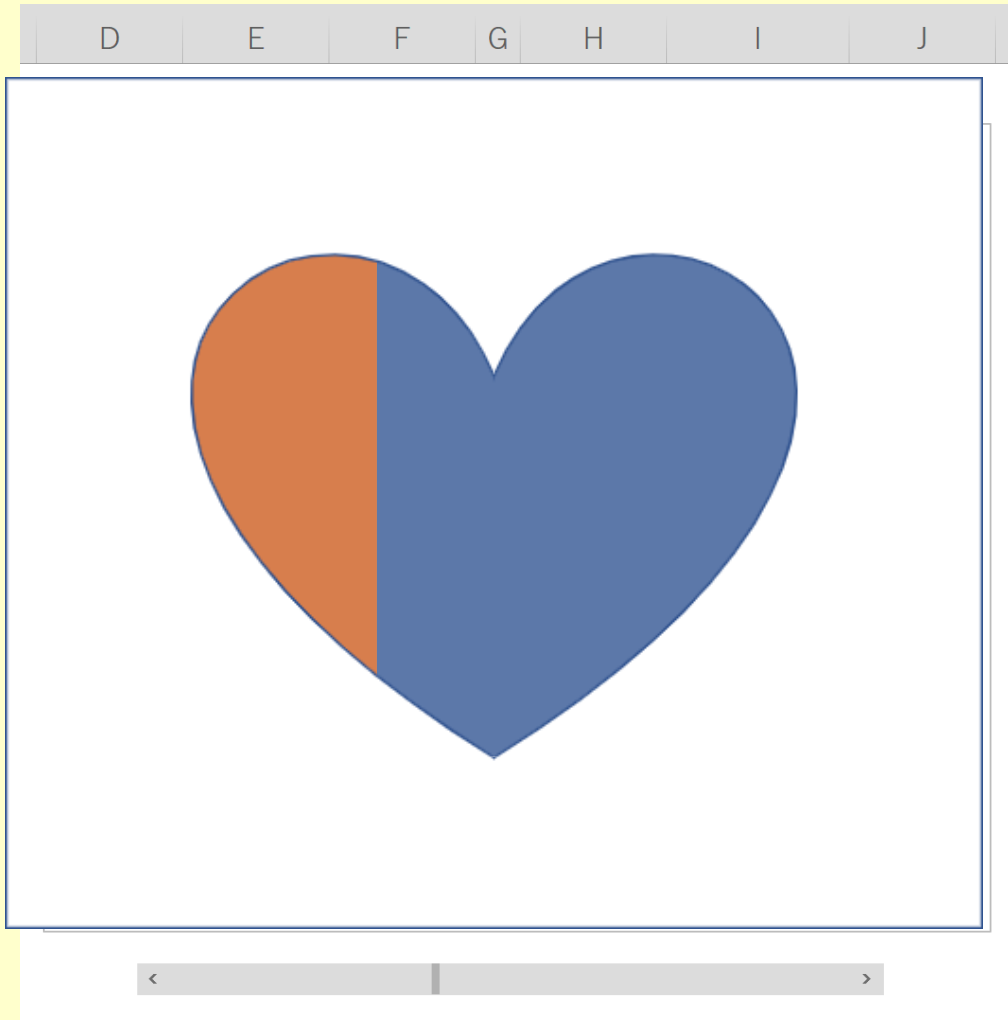
⑪ 児童生徒の思いを数値で表示したくない時は、A1とA2のセルの数字の文字色「白」にする。

# 円とは違う形へのアレンジ方法 (PowerPointを使用)



- (1) 作成方法②の時に、円グラフではなく「100%積み上げ横棒」を選択し、帯グラフを作成する。
- (2) 作成方法⑧まで行った後、Power Pointを開く
- (3) ②のように、□と使いたい図形を作成する。
- (4) 2つの図形を選択し、[書式]のタブをクリックする。①の[図形の結合]をクリックする。
- (5) [型抜き/合成]をクリックし、型抜き図形を作成する。

# 円とは違う形へのアレンジ方法 (Excelを使用)



- (6) Excelで作成していた⑧に戻る。
- (7) PowerPointで作成した型抜き図形をコピーして、帯グラフの上  
に貼り付ける。
- (8) Excelの作成方法⑨⑩を行う。